

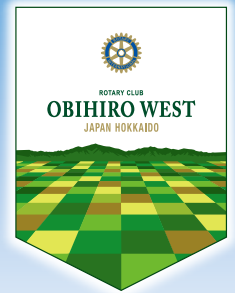


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2326回例会

### 2020.10.29

# 会報



■RI第2500地区テーマ■

ランクアップしましょう

■クラブ・テーマ■

化学反応を起こす出会いの機会を作ろう

**会長報告**

会長 佐々木和彦 会長

最近あまり活動していませんが、私は西クラブのテニス同好会のメンバーで、数年前まで越智、奥、太田、久保、松見、堂山会員と団体戦にも出場していました。20代の頃は各種大会に出場し、都市対抗の選手にもなっていました。その当時、テニスの試合に勝つための3つのCで始まる言葉がありました。1つはConcentration相手の動き・どこを見ているか、ラケットの向き、常に集中していなければなりません。2つ目はControl狙ったところに打つ制球力。自分自身の気持ちもコントロールするという意味もあります。3つ目はConfidenceきちんとした練習に裏付けされた自信です。この3つのCを胸にプレーしていました。さらに今日は充実した人生を送るCも紹介したいと思います。一番重要なのがCuriosity忙しさの中、好奇心にふたをしまいがちですが、仕事でも趣味にでも、たとえばテレビ・新聞を見ていて『オッと思う』『気になる』『なぜだろう』『不思議だな』『知りたい』これがスタートになると思います。次はChallenge興味を持ったことに挑戦することです。そしてCourage困難を克服する勇気をもってContinuation継続して行くことだと思います。本日はその4つのCを実践している大先輩、鈴木会員の卓話です。大変楽しみにしていましたのでどうぞよろしくお願いたします。ちなみに今年度のクラブテーマ、化学反応もChemistry、Cから始まります。



③帯広北RC、移動例会開催のご案内

日時 11月27日(金) 午後0時30分  
場所 ふじもり食堂

④帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日時 11月30日(月) 午後6時30分  
場所 北海道ホテル

**委員会報告**

大友 広明 元ガバナー補佐

本日遅くなりましたが3月に開催予定だったIMのDVDを配布させていただきました。メンバーの皆さんには本当に頑張って準備をしていただき、非常に嬉しく思っています。しばらくたった後、このDVDを見ていただき、こんな年もあったのだと思い出していただければと思います。本当にありがとうございました。

**ニコニコ献金**

岡田 英樹 親睦委員

佐々木和彦 会長

先週休みました。森副会長ありがとうございます  
ごさいます

太田 豊 副会長

またS会員に……!!

鈴木 享 会員

本日卓話をさせていただきます

千葉 清秀 ロータリー情報委員長

本日担当例会です

大友 広明 元ガバナー補佐

本日IMのDVDを配布させていただきます

古田 敦則 会員

大友元ガバナー補佐のご厚意でIMのDVDを配布できました

伊藤 公康 社会奉仕委員長

かちまい会会長に就任しました

平田 利器 会計

タイヤ交換忙しくなってきました

岡田 英樹 会員

ニコニコ発表させていただきました

**会務報告**

小野 辰夫 幹事

①帯広北RC、10月30日(金)の例会は、休会と致します。

帯広東RC、11月3日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広南RC、11月9日(月)の例会は、休会と致します。

帯広南RC、11月23日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。



②帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 11月26日(木) 午後6時30分  
場所 北海道ホテル

ニコニコ	10月29日	18,000円
献金	累計	310,000円 (10月29日現在)



会長 佐々木和彦  
幹事 小野 辰夫

副会長 森 房明  
副会長 太田 豊

会場監理事 菊池 俊博  
プログラム委員理事 熊切 宏樹

発行：広報委員会  
委員長 松原 宏樹 (副)郷 誠一



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

本日のプログラムは「創立40周年を振り返って」という題名で鈴木会員に卓話をお願いしました。次年度創立50周年を迎えますが、私を含め40周年を経験していないメンバーが多数います。温故知新の精神で過去を学び、振り返り、新たな知識を得て50周年を西ロータリーらしく成功させるヒントになればいいと思い卓話をお願いいたしました。



## 会員卓話 「もうすぐ創立50周年ですよ!!」

### 鈴木 享 会員



本日は千葉委員長から50周年に関わる卓話をとの依頼を受けました。これから50周年に向けてそれぞれが役割を担って活動されていくと思いますが、本日の卓話はそのための地ならしになればいいと思います。

まずクラブの創立は1972年2月24日ですが、この年がどんな年であったか振り返ってみたいと思います。この年はけっこう賑やかな年で、グアム島での横井正一さんの発見・札幌オリンピックのジャンプ金銀銅独占・あさま山荘事件・ニクソンの中国訪問による米中国交樹立・沖縄返還式典・田中角栄の総理大臣就任と日中国交正常化さらにはパンダの寄贈など様々な事がありました。次に、50周年の50という数字を考えてみたいと思います。50年は18263日、438,312時間という天文学的な数字になりますが、50という数字でまず思い起こされるのは、「50にして天命を知る」という孔子の言葉で、こんな時代だからこそ今の政治家などに肝に銘じていただきたい言葉でもあります。初代横綱は明石志賀之助という力士でしたが、50代目の横綱は、皆さんご存知の佐田の山になります。同じように、初代の総理大臣は明治18年の伊藤博文ですが、50代目の総理大臣に当たるのは第四次内閣の吉田茂だそうです。一方、50という数字は大変美しいものを表す数字とも言えます。例えば、山田五十鈴という美人女優・伊勢神宮の五十鈴川・アメリカ50番目の州であるハワイ・50年目を迎える夫婦の金婚式などです。他方、ネガティブな50もあります。「50歩100歩」は大した違いはないなどの意味で否定的に使われる事が多いようです。ただ、これも西クラブに当てはめると、50歩とは今までの歩みであり、これから次の100歩に向けて歩き出そうという肯定的な意味になるような気がします。信長の言葉で「人間五十年、下天の内をくらぶれば、夢幻の如くなりひとたび生を受け、滅せぬ者のあるべき」というのがありますが、これも西クラブ流に解釈すれば「人間五十年、下天の内をくらぶれば、夢幻の如くなり、ひとたび生を受け、滅せぬ者のあるべき」となり、この精神でこれからも会員増強に努めていかなければならないと思います。

ところで、ここに示した10名の会員の方々の共通点はお分かりになるでしょうか。これは、クラブ創立の時に生まれていなかった方々のリストです。この中の千葉くんが、ニコニコしながら私に卓話をお願いしてくるのですから、改めて50年という年月は凄いなと感じます。

さらに、皆さんご存知のたいまつ宣言ですが、茨木さんや深澤さんをはじめとして、たいまつは父から子へと50年の中で受け継がれてきました。これらのお父様たちは皆さん大変立派な方ロータリアンでしたが、その子供でもある現役会員の方はまさにこれからですので、プレッシャーもあるでしょうが頑張ってくださいと思います。さて、年代別で今のクラブを眺めてみますと、40代11名・50代27名・60代27名・70代以上14名と大変バランスの良い年代構成になっています。これにあと40代が10名ほど加われば最高のバランスになりますので、是非これからのクラブのためにもそうした方々の入会を働きかけていただきたいと思います。

よく言われる「西クラブらしさ」とは一体何でしょうか。この事の大きなヒントが30周年の記念事業でもあった記

念フォーラムの中にあります。この時、30年の歴史の流れを振り返り、先輩の話を聞きつつ自らも発言し、西クラブの今日と明日を皆で考えようという取り組みがあり、会員全員が年代別に4つの委員会に分かれ、色々と意見交換が行われました。そこで出てきた西クラブらしさを紹介すると、「年齢を越えた交流が盛んで、親睦状況が優れている」「気さくに誰とでも話が出来る」「違和感がなく、厳しさと楽しさが両立している」「長老会員、先輩会員などの専横を感じない」「若い会員の意見と行動を尊重し、クラブの発展に取り組まれている」「ひとつの目的が決められたら、全員一丸となって活動を共にする」などがあげられました。こうした精神が20年後の今も受け継がれているのは、クラブとして誇るべきところだと思います。それでは、こうした西クラブらしさとはどのように生まれたのでしょうか。まず多くの先輩会員が寛容の精神を持ち、包容力があり、若い方々を見守る姿勢があり、何よりもご自分も楽しむという姿勢があったからなのではないかと思います。一方若手の会員は、非常に明るく行動力があり、先輩に対して壁を作らず友好的であると同時に先輩から学ぼうとする謙虚さもありました。こうした先輩後輩の関係から、西クラブらしさというものが生まれてきたのではないかと思います。私も20年前に入会してから心に残る多くの先輩たちと出会いました。素晴らしい人柄で印象に残る宮野会員。私の会長年度にご自分の心情を変えてまで私を助けていただいた生涯忘れえぬ小室会員。そして川上会員や岡田会員・増田会員、私の推薦者でもあった石原会員などです。こうした先輩会員に憧れ、思い起こし、学び、足跡をたどり、今日の自分を見つめてみるという事ができるのは、まさに西クラブにおける恩寵や僥倖ではないかと思います。誰でもいつかは先輩会員になります。先輩会員になった時、過去の先輩たちがどうであったかを振り返る事によって、今日自分が何をすべきなのかがわかるのではないのでしょうか。従って、私たちのクラブにおける恩寵・僥倖というものは大変大きなものであるという事を知っていただきたいと思います。

先ほども少しふれさせていただきましたが、30周年記念フォーラムの若手会員グループで以下の事がまとめられて残されています。「先輩会員の皆様、私達にあなた方の人生経験を話してください」「若輩者の私たちに多くの修羅場を生き抜いてきた知恵を教えてください」「そして、あなた方の優しい笑顔をください。それだけで私達は西クラブを守り続けることが出来ます」これらは西クラブらしさとは少し違いますが、こうした事が恐らく皆さんの心に響くのは、西クラブならではののだと思います。これから50周年に向けて色々と取り組んでいくこととなりますが、是非こうしたことを心の片隅に置いていただきたいと思います。1年半後に迎える50周年は、まさに「西クラブが最も西クラブとなり、西クラブらしさを発揮するとき。50年の歴史の中で、マックス・テンションの舞台です」小谷会長・佐藤実行委員長のもと、全員参加で力を発揮していただきたいと思います。

### もうすぐ創立50周年ですよ！



これから1年半、西クラブが最も西クラブとなり西クラブらしさを発揮するとき50年の歴史の中で、マックス・テンションの舞台です。

